



2014年4月、人間社会学部 人間環境学科より

現代社会学科

Department of Studies on Contemporary Society

に名称変更します。

現代社会学科では、食と環境の問題、メディアとコミュニケーションの問題、さまざまな背景を持つ人々が共生する社会の問題など、現代に特徴的な問題を手がかりにして社会のあり方を考えます。環境学・社会学・メディア研究などの視点から社会を多角的にとらえて、時代に即した仕組みを提案し、多様な人びとと共に社会を変えていく女性となるための場と機会を提供します。カリキュラムは、さまざまな「現場」での実習、地域支援プロジェクトへの参加、演劇的ワークショップ体験、映像メディア制作などを大胆に取り入れた、現代的な課題に応える実践的内容です。環境問題や社会問題への関心が高く、メディアの力も使って社会の仕組みを変えたいという意欲のある人を歓迎します。

学びのポイント



Point 01 食と環境

「環境・食・エネルギー」について考える



Point 03 共生社会

「社会問題の解決」に向けて人びとをつなぐ



Point 02 メディアとコミュニケーション

「ソーシャルメディア」で情報を発信する

【将来の目標デザイン】

- ▶ 企業の環境担当
- ▶ 公務員
- ▶ 食品関連企業
- ▶ NGO・NPO・生協関連
- ▶ 出版・マスコミ
- ▶ 地域コーディネーター
- ▶ 映像制作
- ▶ 大学院進学
- など

惠泉女学園大学

人文学部

日本語日本文化学科／英語コミュニケーション学科／歴史文化学科

人間社会学部

国際社会学科／現代社会学科(2014年4月名称変更)／社会園芸学科

お問い合わせ

入試広報室 〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1 [TEL]042-376-8217 [HP]<http://www.keisen.ac.jp>